

第9回三春町公共施設整備方針検討委員会議事録

1. 日 時 平成24年11月5日（月）午後1時30分～午後3時10分
2. 場 所 役場3階会議室
3. 出席委員 大津茂委員長、佐久間保一副委員長、遠藤重一委員、大内勇委員、伊藤満委員、影山光雄委員、武田泰夫委員、内藤忠委員、松崎正夫委員、橋本国春委員、遠藤真弘委員
- 欠席委員 幕田勝壽委員、影山良吉委員、降矢由美子委員

4. 会議の内容

（1）開 会

事務局（財務課長）

（2）委員長あいさつ

本委員会は、昨年11月に設置され、本日で9回目の委員会を迎えた。前回の委員会では、廃校になる中学校の利活用について、各地区まちづくり協会長に各地区の意向集約をお願いした。

本日は、地区の集約した内容と中学校等の利活用について、意見交換をしたい。

また、本委員会において5月に行った役場庁舎等に関する中間報告については、現在町と議会において検討され、現在開催されている各地区のまちづくり懇談会でも検討状況が報告され、町民の間でも大変関心が高まっているようだ。

（3）議 事

① 三春町役場庁舎整備方針の検討状況について【資料No. 1】

委員長：事務局の説明を求める。

庁内委員：資料No. 1に基づき説明。

委員長：ただ今の説明について、各委員より質問意見等があればお願いしたい。

事務局：本委員会において、一定の意見を集約して中間報告を行ったので、結論を出していただくのではなく、現在の検討状況に対するご意見等があればお願いしたい。

委 員：役場庁舎建設については、町と議会の意見が対峙しているような感じがする。

委 員：役場庁舎建設に当たっては、例えば明治時代には洋風が多かったなど、その時の時代背景があり、その時に合った建物が建設されるのではないかと考えられる。地震直後の庁舎建設になるので、そのような背景に気遣った庁舎建設にするべきであると思う。

古殿町役場の窓口はワンストップサービスになっていたり、石川町でも新庁舎を建設すると聞いている。他市町村の整備計画や答申内容を聞いて、良いところは三春町でも活かすという考え方もできるのではないかと。

委 員：役場とはどうあるべきかという基本的なところからまず議論すべきである。県内の事例だけではなく、例えば秋田の方では、廃校にした学校を役場に使っている事例もある。役場庁舎建設は2～3年で考えられるものではないと思うので、震災後の先進事例を学んだりして、職員がもっと研修等を積んで議論していくべきではないか。

委員長：建設するということになれば、当然専門家や有識者のご意見をいただくことになる

と思う。

委員：議会議員の研修で庁舎建設に係る先進地視察研修を2箇所を実施している。また、震災後、自然エネルギーを活用した庁舎建設を検討すべきではないかということで、11月7日には地中熱を使っている新地町役場庁舎、仙台方面の庁舎を議員と町職員で視察研修の予定である。

現在議会との議論で一番分かれている考え方は、役場周辺にどのような方法で駐車場を確保すべきかが課題となっている。

委員：駐車場の問題について、役場庁舎の日常業務に支障はないのではないかと。役場で会議等がある場合に不足するということではないのか。例えば、役場の半径200～300mの範囲内で職員の駐車場を造り、役場周辺の駐車場は役場庁舎に用事がある人のために開放して、利便性を第一に考えるべきではないか。

図書館建設についても、町の理念に基づいて積み上げたうえで、具体的な議論を深めて欲しい。

委員：庁舎建設に当たって、議会は複合施設建設、町は緊急性で役場庁舎単体の建設と言っているが、議論を深めれば収束するのではないかと。

役場庁舎の駐車場として、議会94台と町76台という検討内容があり、この20台前後の差は日常業務のための駐車スペースと役場で会議等があった場合に欠くことができない差ということになるのか、または、役場に駐車して街中の商店街に行くためのサービス空間としての差と捉えるのか。

または、94台の駐車スペースとさらに役場周辺に76台の駐車スペースが確保できるということであるのか。

庁内委員：94台という台数は、役場1階を駐車場にした場合の台数である。スペースが少なくなるような感じになってしまうのは、役場1階部分を駐車場とした場合、建物の鉄骨の柱部分が出てしまい、駐車場にデッドスペースができてしまうため、若干台数が少なくなってしまうと考えられる。

委員：建物を建設する視点で考えれば、20台の差とワンストップサービスを比較した場合には、ワンストップサービスを優先すべきであると思う。ただし、20台の駐車スペースが必要であると考えれば、ハード的にクリアして、ワンストップサービスの考え方も取り入れるのであれば、2階に行くための抵抗にならない装置が設置できるかどうかの検討が必要である。

委員：議会との20台の差を解消するために、町では立体駐車場を考えたりしたが、議会議案の1階駐車場については、天候に左右されずに駐車できることの利点がある。しかしながら、建物の柱が高く建つので危険ではないかという意見もあり、また、建物の一部となるため、駐車場管理をきちんとしなければならなくなる。

委員：1階を駐車場とすると、暗くて少し不気味な印象があるのではないかと。

委員：役場機能としてどこまで必要なのか、町と議会だけではなく、利用する立場の町民の人にも入ってもらって、声をもらうことが必要ではないかと。

委員：役場の職員駐車場は区画のスペースがあるわけでもなく、また地形も斜めになっており、景観的にも良くない印象がある。

例えば、広い町有地等に職員駐車場を整備して、職員はそこからバスで来るなども

考えられないか。そうすれば、役場周辺の駐車場が有効に使えるのではないか。車社会と言われるので止むを得ない部分もあるが、もう少し工夫して考えてみてはどうか。

委員長：役場庁舎の駐車場を1階に造ることは、柱があるためにあまり有効的ではないのではないか。職員駐車場は、別に有効な場所に整備してバス等を利用するなど、役場庁舎は町民の利便性を最重点に考えるべきではないか。

委員：駐車場を一箇所にまとめるのは難しいのではないか。駐車場を分散するなど、今の三春町に考えられることをやっていけば、駐車場のような課題も解決できるのではないか。町民も含めて、良い知識を取り入れ町全体として考えて、話を進めていただきたい。

委員：桜谷駐車場整備予定とあるが、町有地であるのか。また、何台ぐらい駐車可能か。

事務局：町有地であり今回駐車場として整備予定であり、50台程度駐車可能である。

委員：図書館を建設する際には、タブレット型の電子書籍の動向を考慮することになるのか。

委員：教育委員会の考えとしては、図書館には閉架図書が開架図書の倍ぐらいの冊数があるので、役場庁舎と併設はできないと考えている。本委員会における中間報告のとおり、旧公民館を解体して図書館を建設するのが良いのではないかという考え方である。例えば、大人用と子ども用に図書館を分けて建てるという意見もあるが、分けることは難しいのではないかと思う。親子で来るのが楽しいことでもあり、仮に分けてしまうと駐車場周辺で子どもへの危険性が懸念される。子どもにふさわしい図書館を建設したい。

また、平成に入ってから図書館の理念をつくったものがあるので、それらを参考にし、図書館協議会委員も研修に行ったりしているので、その理念や意見を町にも議会にも示したいと考えている。

委員：三春の学校建築は全国的に有名であったが、今度は学校を学校として使わなくなる。その当時、人口が減っていくだろうという予測ができたであろうと思う。図書館が必要である現在、電子端末が普及する変わり目の時期にあるので、今後図書館はどうなっていくのか専門家の知識や研究が必要である。20年から30年後にまた、図書館をどのように使うかについて検討会を開催するようでは、あまり意味がないと思う。

委員：電子書籍については、現在議論されており、いずれ個人IDで読める時代になるのではないか。現在、議論の入口の段階である。

事務局：本委員会における中間報告においても、図書館整備に当たっては電子図書の動向に応じた機能と規模を配慮すべき旨記載している。

委員：その他、ご意見等ありませんか。

各委員：なし。

② 閉校となる中学校等の利活用について【資料 No. 2】

委員長：事務局の説明を求める。

事務局：資料 No. 2 に基づき説明。(最初に、これまでは「廃校となる中学校」という表記をしてきたが、内部で検討した結果、本委員会においては「閉校となる中学校」にしたい旨を報告した。)

委員長：ただ今の説明について、各委員のご意見等よろしくお願ひしたい。

委員：財源調達手段とは具体的にどのようなものであるのか。また、補助金返還義務の緩和について具体的に教えて欲しい。

事務局：学校が閉校になった場合には、全国的に見ても、有償で譲渡したり、貸与したりする事例があるため、本委員会においてもその旨検討したと記載した。また、補助金制度は弾力化されて、ほとんど補助金返還義務はなく、積立をすれば良いということであるが、具体的な金額までは現在試算していない。

委員長：各学校の利活用計画（案）については、学校ごとにご意見等をいただきたい。

1) 三春中学校について

委員：三春中学校については、耐震補強と解体に係る概算工事費が記載されているが、その利活用については、かなり勉強しなければならないと思う。建物をそのまま活かす方が良いのか、解体して利用する方が良いのか、それなりの組織を立ち上げて、町民有志で知恵を絞って勉強して欲しい。

委員長：私も三春まちづくり協会の役員であり、会議に出席したが、三春小学校の仮校舎となることが決まっているので、その後の三春中学校の利活用方策の検討になるため、その間議論を進めていくべきであるとした。取り壊す場合にしても、子どもたちの姿が見えなくなるため、何をつくるかが大事になってくると思われる。

委員：三春の場合には、日本トップクラスの専門家が呼べるので、早く議論を起して活用し、どんどん議論を進めていくべきではないか。

委員長：その他ご意見等がなければ、資料のとおり本委員会の意見（案）としてよろしいか。

各委員：異議なし。

2) 沢石小・中学校について

委員長：小学校が中学校に移転した場合、今度は空くことになる沢石小学校の利活用についても議論が必要となる。まずは、地区での議論が必要ではないか。

委員：沢石地区としては、沢石小学校の利用について地元で考えるのが正直難しい。町での利活用の予定があれば、お世話になりたいという話も出ている。

委員：沢石会館をつくる時にも、議論を重ねている。三春は知恵を持っており、これまでの実績もある。

委員長：地区の意見や町の考え方など、いろいろな角度から将来の方向性について検討していくことが必要であろう。

委員：バスに乗る場合、小学校前の沢石会館の前の広場で乗車する際、県道を横断する危険性がある。沢石小学校が沢石中学校に移転した場合、マイクロバス1台が入れるぐらいの坂道の道路幅改良や、入口にゆったりとしたスペースが確保できるようにぜひ改良していただきたい。

委員長：その他ご意見等がなければ、資料のとおり本委員会の意見（案）としてよろしいか。

各委員：異議なし。

3) 要田中学校について

委員：建築物の定期検査の際に、地震の影響により渡り廊下のジョイント部分に5 c m程度のずれが確認された。また、雨が降ると、体育館の北側壁が水で浸みしてくることが確認された。

各委員：特になし。

委員長：その他ご意見等がなければ、資料のとおり本委員会の意見（案）としてよろしいか。

各委員：異議なし。

4) 桜中学校について

委員：建物を確認したところ、理科準備室に雨漏りが見られた。また、理科室の吹き抜けに換気扇があるが、高すぎてメンテナンスしにくいと感じた。デザイン性に重点を置くと、メンテナンスしていくことが難しい。

委員：芸術村構想はおもしろいが、費用がかかるのではないかとと思われる。しかしながら、文化がないと町は向上しないと思う。

委員：喜多方市では、蔵を活用して東京の若い芸術家のスタジオ アトリエとして活用している事例がある。

委員：管理方法についても、第三セクターを活用するなど工夫が期待できる。

委員：まほらは大変良い施設であるので、例えば、大学のコーラスグループが三春に合宿して、まほらで発表するような利活用が考えられないか。桜中学校を文化施設にするのが良いのではないか。

委員：三春の里には、目黒区の子どもたちが合宿に来ている。街中に人を呼び込む方法を有機的に考えるのも一つの手段として良いのではないか。

委員長：桜中学校の利活用については、様々なことが想定されるので、今後十分な議論の場を設けていただきたいと考えている。

その他ご意見等がなければ、資料のとおり本委員会の意見（案）としてよろしいか。

各委員：異議なし。

(4) その他

事務局：本委員会については、当初11回開催を予定していたが、本日の各委員の意見等を加除したうえで、次回の委員会では中間報告と本日の議論を踏まえ、最終報告書（案）としたいと考えている。

各委員：特になし。

委員長：本検討委員会は大枠を作って方向性を見出して、1日も早く専門家や有識者、また町民から意見をもらうなど、具現化を図っていくことが大事であると考えている。

事務局：次回は12月下旬頃の開催予定としたい。

(5) 閉 会

事務局（財務課長） （15：10）